

# 水トラストニュース

2012.6 No.26



## もくじ

御嵩町町有林整備に関する協定を更新！	.....1
御嵩町環境フェアに参加	.....2
なごや環境大学の共育講座 「ビバちきゅうきょうしつ 2012～水と旅する大冒険～」	.....3
20分で作れる簡単ヨーグルトムース	.....5
竹炭焼こうぜ！ぷろじえくと 始動中？	.....6
「イカプラス5月号増刊 日本の絆 NPOナビゲーター」より	.....7
2011年度定期総会案内	.....9

# 御嵩町町有林整備に関する協定を更新！

御嵩町の町有林の間伐・枝打ちを引き受けてから早くも5年が経ってしまいました。柳川前町長時代の2007年2月に2年間の約束で綱木地区の3haの町有林整備を引き受けたのが始まりです。以来5年間にわたって、毎月第2土曜日の夜、綱木のふれあいセンター(公民館)に宿泊し、翌日の日曜日に町有林に入るというスケジュールが続けられてきました。途中で誤伐事件(役場の図面が間違っていて、指定された森の一部が民有林になっていたのです)が起きて中断が入りましたが、2年間で約2haの作業を終えました。1haあたり約1000本を伐っているのです、2000本近く伐ったこととなります。

2009年に協定の更新をした時には渡辺新町長になっていました。今度は約束の期間が3年間となり、第1期でやり残した1haを手始めに、第2期分として小和沢側に1haと5haの2か所の森を引き受けました。5haのほうは、小和沢を貫通する旧県道の北側の斜面で、産廃処分場反対運動のさなかに何度も見上げた森です。寿和工業が買収した土地に接するコア部分の森です。この森に手を付け始めたところで3年間の契約期間が終了し、今回の更新になったのです。

今回の更新の儀式には、トラストの代表である由井さんと、このところ進境著しい西川さん、早川彰子さん、そして筆者が出席しました。相手方は2期目の当選を果たしたばかりの渡辺町長と5年前から変わらずの可見係長でした。協定書の調印の前の雑談の中で、御嵩町が800haの町有林のうち200haほどを加茂森林組合に委託して間伐を実施することになったとの話が出ました。森林組合といっても、実際に作業するのは民間の業者です。伐採して出荷する間伐材は森林組合のものとなり、御嵩町の取り分はなしだそうです。渡辺町長は、無料で間伐をしてもらえるのだから目出度い話だと手放しの喜びようだったのですが、果たしてどうなのでしょう。

ともかく今回の更新で、2015年2月までは、町有林整備を続けることになりました。間伐材の有効利用をはかるように役場に要望し続けてきたのですが、町営マレットゴルフ場の資材や木材チップロードのための出材などがあっただけで、本格的な有効利用には程遠い状態です。町内ボランティアグループである美土里隊との連携も今一つ進んでいません。寿和工業から岐阜県に寄付された産廃処分場用地の利用方法との連携なども可能性があると思うのですが、こちらの方も全く冬眠状態のようです。

トラストの森が始まってから15年以上が経過して、参加メンバーもずいぶん入れ替わり、産廃処分場反対と上流域への恩返しで始まった水トラストの発足理念を共有する人だけではなくなりつつあります。

ネットを見て参加してくる若者たちの中には、リピーターとなる人が少なからずいます。こうした若いメンバーの積極的な参加や提案が新しい時代の新しいトラストのスタイルを生み出す可能性があるように思います。これから3年間、どんな展開が待っているのでしょうか。楽しみです。

(大沼 淳一 記)



## 御嵩町環境フェアに参加

2月26日(日) 御嵩町中公民館で、毎年恒例の環境フェアが開催されました。薪割り機の実演、編み物や工作の教室、写真や剥製の展示など、様々な出展があり、多くの人で賑わいました。私たちも3Fにブースを借りて、子供向けに工作のスペースを用意。たくさんの子供たちが興味津々に取り組んでくれました。



朝9時。10人弱の水トラスト常連メンバーが集まり、自前の工具や山から持ち出した木枝を搬入。それからの1~2時間は、自らの工作に没頭します・・・

その場にあるものを使って、自由気ままに作品を完成させていきました。

完成してみると、皆、立派な職人たちだったようで、ブースに並べるとなかなかの見栄えです。



その作品を見た子供たちが、興味を示して手作りにチャレンジしてくれ始めました。

具体的プランのないままに始まったフェアでしたが、予想以上に楽しんでもらうことができ、また私たち自身も楽しむことができ、充実の一日でした。こうしたイベントで、木や山林への関心が少しでも深まることを願います。

(池田 大樹 記)

## なごや環境大学の共育講座

# 「ビバちきゅうきょうしつ 2012～水と旅する大冒険～」

なごや環境大学実行委員会によって企画されたこの講座は、山から街、海へと、川の流りに沿って水にまつわる場所をおとずれ、子供たちに自分の生活と水とのかかわりを考えてもらうことを目的としています。講座は全5回で約三ヶ月にわたって開催されますが、その初回はまず川の出発点である水源を訪ねよう、ということで、私たちの「水源の森」にきてくれました。

当日、5月12日（土）は天気がよかった。名古屋伏見からバスに乗って（大沼さん添乗、バスのなかで御嵩の説明）小学生19人中学生6人と環境大学の4人がやってきた。

小学4年生が多かった。小さくて、子供らしい笑顔がかわいい。中学生はそれなりに落ち着いて大きい。

小屋まで山道を歩く。ごろごろの石ころ道だけど、身軽なからだでうまくバランスをとって歩いていた。途中子供たちと話す。昨日はわくわくして眠れなかった。ガールスカウトでアウトドアの活動には慣れているし好きだ。兄弟でそれぞれ好きなプログラムを選んで自分はこの水のプログラムにした。外で何か作ったりすることが好き。今ちょうど学校で水の勉強をしているからこれにした・・・意外に外遊びが好きな子が多くて驚く。



山小屋に着いて、荷物を置き散策を始める。急な坂を下りたり、上ったり。誰もいやだとはいわない。手を借りたり、次はそこだと足の位置を教えてもらったり、みんな少しスリルを感じて楽しそうに歩いていた。スミさんの明るい元気な声かけも励みになっていた。虫かごをもって虫を探しながら歩いたり、木の枝を見つけて持ち歩いたり、松ぼっくりをとったり、いろいろ遊びを考えて歩く。山の自然のなかに、あれこれ楽しみを見つけていた。

昼ごはん、お母さんの手作り弁当を楽しむ。いろいろで焼きたいのししを食べてみる。しっかりした歯ごたえも平気な肉好きな子供たち。



午後は笹刈りと植林班に分かれる。植林は植える場所を見にまた急な坂を降りる。それから山道をもどって苗になるヒノキを土から掘り出す。また戻って坂を下りて植える。かなりの運動量。苗を掘り出すことからやるので少し驚いていた。土が固くスコップよりシャベルが必要だった。2mの間隔で苗を植える。そこまでやるとかなり達成感みたいなものを感じる。

笹刈り、のこぎりを腰につけて、作業の準備を整えるとやる気が起こるのだろう。笹を刈って笹の下にもぐったり、友達にかけたりするのが楽しかったようだ。

作業が終わり、スミさんがシャベルに乗ってジャンプを始める、みんな真似する。それから2本のスコップと板でスキーのかっこうを始める。また子供が真似する。おだてる言葉をどんどんかけて盛り上がっていく。スミさんの子供遊びの相手は本当にうまい。たぶん子供相手だけでなくいつも雰囲気をも盛り上げることができる人だと思う。インタビューもして、「楽しただけじゃなくて、この地球を変えるようなことを言え」と乗せると、子供は本当に「この苗が地球を救う」など返ってきて、笑顔になる。

4時、バスに乗ってまた名古屋へ。それぞれ一言述べることになり、みんな楽しかったと言っていた。急な坂を上るとき、下るとき、怖かったけれどおもしろかった。苗を掘るのが面白かった。いのししの肉がおいしかった。笹の葉で人をおおったり、もぐったりして遊んだことが面白かった。そんな感想が聞けた。



やったことは、苗を掘って植える、笹を刈る、大人にはとても簡単ですぐにできそうなことも、子供は一日かけてやる。時間がゆっくり動いていった。でも感想を聞いて、子供たちが本当に外の空気が好きなことがわかった。本物の子供らしさを見たように思う。

その後バスの中は静かになった。思い切り歩いて作業して、思い切り眠って体力をとりもどそうとしていた。子供たちはきっとまた「水源の森」に来てくれるような気がする。

(桜 小枝 記)

# ☆20分で作れる簡単ヨーグルトムース☆

パティシエもどき(の西川)

3月の山の作業日に持っていったヨーグルトムースが思いの外、好評だったため特別にレシピを公開します！

来年のバレンタインデーのお返しはこれで決まりだ！男子諸君！

~~~~材料(4人分)~~~~

|       |       |
|-------|-------|
| 生クリーム | 100cc |
| 牛乳    | 150cc |
| ヨーグルト | 150g  |
| 砂糖    | 75g   |
| ゼラチン  | 7g    |
| レモン汁  | 1/2個分 |
| やる気   | それぞれで |

~~~~作り方~~~~

- 1 最初に材料の分量を計って準備しておきます。レモンは絞っておきます。
- 2 鍋に牛乳を入れ50°C~60°Cまで暖めたらゼラチン加えます。  
ゼラチンがダメにならないよう牛乳は手早くかき混ぜ、ゼラチンは少しずつ入れていきましょう！  
ゼラチンを入れ終わったら砂糖を入れて冷ましておきます。  
※ゼラチンは加熱しすぎると固まりにくくなります。  
牛乳の温度は指で計って4秒で「あっつ！」となるくらいが55°C前後です。
- 3 生クリームをボールに入れ、あわだて器で7分立てまであわ立てます。  
※7分立てではあわ立て器でちょっと線が書けるくらいです。
- 4 生クリームに①の牛乳+ゼラチン+砂糖、ヨーグルト、レモン汁を加え、よくかき混ぜます。
- 5 タッパー等の器に流しこみ冷蔵庫で2時間くらい冷やしたら完成！

# 竹炭焼こうぜ！ぷろじえくと 始動中？

柳生竹佐右門

苦節？一年やっと竹炭を焼こうぜという機運が盛り上がってまいりました。皆さん竹炭焼いて竹炭長者になろうぜ。



三月の作業日は、約一年ぶりに、水トラストの事を心配して、御嵩町内の炭焼き人、寺山さんが、我々の作業に参加して下さいまして、土曜日には、昼休みに参加者一同、お弁当持参で寺山さんちの炭焼き小屋へ見学に。早春の里山で楽しいひとときを過ごしたのであります。



実際の炭焼きを見学して一同炭焼きへの情熱が火を吹いた？かどうか。

とりあえず、竹炭焼こうぜ ぷろじえくと の第一歩として、竹を 八十センチ にまずは切ろうぜ！



## 次ページの記事について



有限会社カタリストが3月12日に「NPOナビゲーター 日本の絆」という情報誌を発刊しました。東海地方のさまざまなNPOの活動が紹介されており、わたしたち「水トラスト」も取り上げていただきました。その紙面を、許可を得て次ページに転載いたします。編集長の菅沼さんは、この取材のために、昨年10月、泊りがけで山仕事に参加してくださいました。